

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名 **新** 3Dバーチャル美術展開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111 (内 2465)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,500 千円 (前年度予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,500	0	0	0	0	0	0	0	3,500
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県では、青少年への美術の普及のため、「岐阜県青少年美術展」、美術に親しむ県民の裾野を拡大し、創作活動に励む県民に広く発表する機会を提供する「ぎふ美術展」及び「円空の独創性や慈愛の精神」を注目すべき本県の個性と捉え、円空上人を連想させる顕著な業績をおさめている現代作家を顕彰する「円空大賞展」を開催。

上記の3事業について、パソコン、スマートフォン、タブレットから、展覧会場をVR体験できるバーチャル展示を実施。

### (2) 事業内容

令和4年度岐阜県青少年美術展の青年部5部門(絵画、デザイン、立体、書道、写真)、少年部2部門(絵画デザイン、書写)、第4回ぎふ美術展の7部門(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、自由表現)及び第11回円空大賞展の展示会場、作品等のバーチャル展示を実施。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県主催事業のバーチャル展示費用であることから、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	304	業務旅費
需用費	125	消耗品費
役務費	75	通信運搬費
委託料	1,606	3DVR撮影料、編集費、管理費
補助金	1,390	(公財)岐阜県教育文化財団への補助金
合計	3,500	

**決定額の考え方**

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

コロナ禍や県美術館に来館することが出来ない県民等のため、パソコン、スマートフォン、タブレットから、展覧会場をVR体験できる展示を実施することで新たな鑑賞の機会を提供するとともに、青少年美術展及び円空大賞展の閲覧者（観覧者）数の増加を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R1年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
青少年美術展閲覧者数	-	-	8,600	16,000	18,000	-%
円空大賞展閲覧者数	-	-	-	5,000	6,000	-%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	（青少年美術展） ・岐阜県青少年美術展を上記の予定で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。 （円空大賞展） ・円空大賞新選考委員3名の決定、継続選考委員6名への就任依頼を行った。選考委員10名より円空大賞の候補者推薦をいただき、書面による事前選考を行なった。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b>（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>青少年美術展及び円空大賞展のバーチャル展示を実施することで、本県の芸術、美術の普及と表現力の育成に繋がることから、事業の必要性は極めて高い。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b>（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：まだ期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>今年度は、青少年美術展のバーチャル展示を実施したところ、9,398件（令和3年度10月初旬時点）の閲覧があり、新たな鑑賞の機会の提供に寄与した。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b>（事業の実施方法の効率化は図られているか）  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>バーチャル展示については、撮影、編集等を業務委託することにより、事業の効率化を図っている。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  中長期的な課題として、観覧者数の減少があるため、次年度以降も継続して小中高等学校関係者や文化・芸術団体等へ周知を図ることで観覧者の増加を目指す。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  青少年美術展及び円空大賞展開催前に学校関係者や文化・芸術団体にバーチャル展示の周知を行う。併せて、青少年美術展では、作品搬入時等の機会を捉えてバーチャル展示の周知を図る。また、会期中はバーチャル展示に係るアンケート調査を実施し、会期終了後、県民等のご意見を踏まえ、事業の所要の見直しを図る。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	3Dバーチャル美術展開催事業費補助金
補助事業者(団体)	(公財)岐阜県教育文化財団 (理由)ぎふ美術展の事業実施主体であることから、本事業の補助事業者としては妥当。
補助事業の概要	(目的)第4回ぎふ美術展バーチャル展示実施のため。 (内容)第4回ぎふ美術展の会場、作品等のバーチャル展示を実施。
補助率・補助単価等	<b>定額</b> ・定率・その他(例:人件費相当額) (内容)県 10/10 (理由)県主催事業のバーチャル展示費用であるため
補助効果	バーチャル展示を実施することで、新たな鑑賞の機会を提供し、新たな閲覧者の増加を図る。
終期の設定	終期:令和4年度 (理由) 新型コロナウイルス感染症対策事業であるため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>ぎふ美術展来館者の増加とともに、遠方の県民等を中心にバーチャル展示閲覧数の増加を目指す。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標	
					(R6)	達成率
ぎふ美術展閲覧数	-	-	9,000	11,000	13,000	-%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	0千円	0千円	0千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。 第3回ぎふ美術展応募促進、展覧会周知等の広報を実施。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	ぎふ美術展のバーチャル展示を実施することで、本県の芸術、美術の普及と表現力の育成に繋がることから、事業の必要性は極めて高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満)</li> </ul>	
(評価) 3	今年度は、第3回ぎふ美術展のバーチャル展示を実施したところ、5,649件 (令和3年度10月初旬時点) の閲覧があり、新たな鑑賞の機会の提供に寄与した。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	バーチャル展示については、撮影、編集等を業務委託することにより、事業の効率化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項 ぎふ美術展でバーチャル展示を実施していることの周知・広報。</li> </ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ぎふ美術展でバーチャル展示を実施していることを文化・芸術団体を中心に周知・広報を徹底する。併せて、作品搬入時等の機会を捉えてバーチャル展示の周知を図る。また、会期中はバーチャル展示に係るアンケート調査を実施し、会期終了後、県民等のご意見を踏まえ、事業の所要の見直しを図る。</li> </ul>
--